

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員、パート労働者の希望者全員の正社員化を。めどせず、均等待遇なくそう差別！ユニオンは労働法裁判に勝利するぞ！

長崎中央局の移転問題



未来



全労協・郵政産業労働者ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3761
17年6月9日(金)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。皆さんは、長崎中央郵便局の正面前電車通りの歩道に、立て看板があるのをご存知ですか。設置されているのは「長崎市都市計画道路事業」に関するもので、長崎中央局の側方を通っている市道「大黒町恵美須町線」を拡幅するということです。施行期間は「自平成26年6月27日 至平成33年3月31日」となっており、平成26年7月24日

に設置されました。この事業には、長崎中央局の敷地(総敷地の約4割、本舎の約5割)がかかっているため、長崎中央局の移転がスムーズに進むかどうか焦点となっています。この件に関して、郵政ユニオンが共産党長崎市議団を通じて、長崎市に事業の推進状況(中央局の移転を確認したところ、以下の回答を得ました。(長崎市としては)今年度中に移転先を決定したい。来年度中に移転交渉について(工事関係業者と正式契約を行う)。現在移転先候補地を検討中。*市として何か所か候補地を郵便局に提示しているが、



まだ郵便局から回答がない。道路拡幅については、施行期限である平成33年度中に完成させたい。以上の回答でした。

長崎中央局の移転は社員だけでなく、(株)ボンスカンパーニや食堂・清掃関係者などにとっても大問題です。また、長崎中央局の単純な移転ではなく、長崎北郵便局と統合して(新)長崎郵便局(仮)を設置するという噂も聞きます。これまでのネットワーク再編による新局の開設は、高速道路のインターチェンジには近いけれど、公共交通機関利用だと非常に不便といつところに作られています。長崎中央局移転はネットワーク再編とは直接関係がなさそうです。が、長崎駅周辺の交通機関の便の良いたと所に移転してほしいものです。市の説明ではあと10か月で移転先が決まることもあり



そうです。皆の関心の高い問題です。決定次第知らせてくれることを望みます。

特殊切手販売の不手際

特殊切手(記念切手)販売はレターパック販売と並ぶ通年営業の要です。しかし、この特殊切手(以下切手)販売は一部のシール切手に人気を集め、品切れが多くお客様から不評を買っています。一例をあげると、業務用で使用しやすい「おもてなしの花・星の物語・旅」シリーズなどは早めに品切れとなりました。一方、同じシール切手でも「くまのプーさん・ミッキー・シリーズ」などキャラクター物「動物」シリーズなどは売れ残る物が多いです。

私は4月末に、6月23日発売のハッピーグリーンティンクの92円切手70シートの予約を入れました。5月下旬になって、長中局集営部には

発売当日には40シートしか入荷しないので、私には20シートしか渡せないと連絡がありました。この92円のシール切手は年に一回しか発売されません。それを知っているお客さんからは多くの注文が入ります。毎年発売日には、予約で一杯となり人手不能となる商品です。

ただ発売日の2か月に予約された商品を、お客様に販売することができない現状を何故ほっとくのでしょうか。



総務に確認してもらった「発売日以降でないと追加の注文を入れられない」、しかも長中局に割り当てがあるかどうかかわらないとのことでした。こんな回答をお客様に言えますか。

販売・販売というのなら、需要に基づいた適正な発行計画を立て、お客様に迷惑をかけずに済むようにしてほしいものです。